

アンケート調査結果（第9期施策体系に基づく分析）

1. 調査の概要（調査目的、対象等）

（1）調査の目的

本市では、市民が高齢期を自分らしく過ごしていただけるように、「高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」に基づき、様々な高齢者施策を進めています。

本調査は、計画の見直しに向けて、高齢者の生活実態やニーズ、介護保険制度に対する意向を把握することを目的に実施しました。

（2）調査の対象と調査方法

調査の種類	対象者
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	令和8年2月1日現在、市内在住の65歳以上の人（要介護認定者を除く）から2,000人を無作為に抽出 ○要介護認定を受けていない人 ○介護予防・日常生活支援総合事業対象者 ○要支援認定者 郵送による配布・回収
②在宅介護実態調査	令和8年2月1日現在、在宅で生活をしている65歳以上の要介護認定者のうち、1,000人を無作為抽出 郵送による配布・回収
③サービス提供事業所調査	和泉市内で介護保険サービスを提供している法人（226法人） ハガキにて調査協力を依頼、回答はインターネット
④ケアマネジャー調査	和泉市内の居宅介護支援事業所で働くケアマネジャー（67事業所） メールにて調査協力を依頼、回答はインターネット
⑤住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等調査	和泉市内で特定施設入居者生活介護の指定を受けていない有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅（52ヶ所） メールにて調査協力を依頼、回答はインターネット

（3）調査期間

令和8年3月6日から令和8年3月31日の期間で実施。

(4) 回収状況

調査の種類	配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2,000 件	1,543 件	77.2%	1,543 件	77.2%
②在宅介護実態調査	1,000 件	562 件	56.2%	555 件	55.5%
③サービス提供事業所調査	226 法人	103 法人	45.6%	103 件	45.6%
④ケアマネジャー調査	67 事業所	88 件	49.4%	88 件	49.4%
⑤住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等調査	52 施設	20 施設	38.5%	20 件	38.5%

2. 報告書の留意点・見方

○表・グラフに付加されている「n」は質問に対する回答者数を表しています。

○結果数値(%)は、少数点第2位を四捨五入しており、内訳の合計が100%にならないことがあります。

○複数回答の場合、回答者数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が100%を超えます。

○表・グラフ中の「不明・無回答」の表記については、無記入、回答の読み取りが著しく困難な場合、1つまでの回答を求めている設問に対し2つ以上回答していた場合は「不明・無回答」として処理しています。

基本目標１ 健康寿命の延伸、重度化防止に向けた取り組みの推進

（１）生涯を通した健康づくり活動の推進

○現在の健康状態について、未認定者・要支援者ともに「まあよい」が最も多くなっています。

○前回調査とほぼ同じ結果となっています。

主観的健康観

単位：％

No.	選択肢	未認定者		要支援者	
		前回	今回	前回	今回
1	とてもよい	14.5	11.8	2.8	1.9
2	まあよい	68.3	71.5	47.5	51.6
3	あまりよくない	12.3	13.7	37.9	37.4
4	よくない	2.2	2.0	8.7	7.1
	不明・無回答	2.7	1.0	3.1	1.9
	回答者数(n)	767	1,388	739	155

○健康の保持・増進や介護予防で心がけていることは、未認定者は「定期的に歩いたり運動したりするなど足腰をきたえている」、要支援者は「歯磨きなど口腔ケアに努めている」が最も多くなっています。「定期的に歩いたり運動したりするなど足腰をきたえている」「バランスの良い食事をとっている」「仕事をしている」「趣味を持っている」「友人との時間を持つ」の項目は未認定者より要支援者のほうが10ポイント以上低くなっています。

健康の保持・増進や介護予防で心がけていること

(複数回答) 単位：％

No.	選択肢	未認定者	要支援者
1	定期的に歩いたり運動したりするなど足腰をきたえている	64.3	44.5
2	バランスの良い食事をとっている	55.9	42.6
3	地域の行事や活動に積極的に参加している	15.0	6.5
4	仕事をしている	27.0	1.3
5	歯磨きなど口腔ケアに努めている	55.0	51.0
6	趣味を持っている	46.4	31.0
7	定期的に健康診断等を受けている	57.5	49.7
8	友人との時間を持つ	41.7	25.8
9	人と話をする機会を持つ	45.5	40.0
10	その他	4.5	10.3
11	特にない	3.7	6.5
	不明・無回答	1.3	3.9
	回答者数(n)	1,388	155

(2) 介護予防・重度化防止の推進

○介護予防に対する関心は、未認定者は「やや関心がある」、要支援者は「非常に関心がある」が最も多くなっています。

介護予防に対する関心

単位：％

No.	選択肢	未認定者		要支援者	
		前回	今回	前回	今回
1	非常に関心がある	27.2	26.3	40.3	39.4
2	やや関心がある	40.8	40.6	32.1	26.5
3	あまり関心がない	11.0	10.8	3.4	5.8
4	まったく関心がない	2.5	3.0	0.8	2.6
5	わからない	13.4	14.0	15.4	17.4
	【別掲】関心がある	68.0	66.9	72.4	65.9
	【別掲】関心がない	13.5	13.8	4.2	8.4
	不明・無回答	5.1	5.3	8.0	8.4
	回答者数(n)	767	1388	739	155

○介護予防に感心がない理由は、未認定者は「現状、介護予防の必要はない」、要支援者は「体調・持病・身体的制限がある」が最も多くなっています。2番目に高い回答は未認定者・要支援者ともに「何をしたらいいかわからない」となっています。

介護予防に感心がない理由

単位：％

No.	選択肢	未認定者	要支援者
1	何をしたらいいかわからない	16.5	13.6
2	効果を感じない	0.5	0.0
3	面倒、疲れる、やる気がおきない	1.8	2.5
4	忙しく時間がない	2.4	1.2
5	体調・持病・身体的制限がある	2.5	14.8
6	周囲に一緒にする人がいない	0.9	4.9
7	現状、介護予防の必要はない	28.4	8.6
8	続ける自信がない	2.5	6.2
9	健康だから	8.2	3.7
10	その他	1.4	2.5
11	理由はない	8.7	4.9
	不明・無回答	26.0	37.0
	回答者数(n)	950	81

○介護予防の取り組み状況は、未認定者は「まったくしない」、要支援者は「週2～3回」が最も多くなっています。週1回以上介護予防に取り組んでいる人は、未認定者で20.9%、要支援者で32.8%と、前回調査から減少しています。

介護予防の取り組み状況

単位：％

No.	選択肢	未認定者		要支援者	
		前回	今回	前回	今回
1	週4回以上	11.5	9.2	4.7	1.6
2	週2～3回	8.2	7.3	21.0	16.4
3	週1回	3.9	4.4	23.4	14.8
4	月1～3回	3.5	2.5	4.9	4.9
5	年に数回	2.9	3.3	2.2	1.6
6	まったくしない	54.1	37.7	20.2	13.1
	【別掲】週1回以上	23.6	20.9	49.1	32.8
	不明・無回答	15.9	35.5	23.7	47.5
	回答者数(n)	767	1,388	739	61

○いきいきいずみ体操の認知度は、未認定者・要支援者ともに「知らない」が最も多くなっています。

いきいきいずみ体操の認知度

単位：％

No.	選択肢	未認定者		要支援者	
		前回	今回	前回	今回
1	知っている	32.1	33.4	39.6	38.1
2	知らない	61.4	58.6	48.2	49.7
	不明・無回答	6.5	8.0	12.2	12.3
	回答者数(n)	767	1,388	739	155

基本目標２ 高齢者の尊厳に配慮したケア対策の推進

（１）高齢者虐待の防止

○高齢者虐待に当てはまる項目について、未認定者・要支援者は「怒鳴る、ののしる、悪口を言うなどの行為」、要介護者は「つねる、殴る、蹴るなどの行為」が最も多くなっています。「上記に高齢者虐待に当てはまると思う項目はない」は、１割となっています。

高齢者虐待に該当すると思うもの

単位：％

No.	選択肢	未認定者	要支援者	要介護者
1	怒鳴る、ののしる、悪口を言うなどの行為	67.2	52.9	57.7
2	つねる、殴る、蹴るなどの行為	64.5	47.7	58.9
3	室内にごみを放置し、劣悪な環境の中で生活させる	53.5	38.7	51.0
4	排せつの失敗をした時、家族が罰として裸にして放置する	59.1	38.7	53.7
5	日常生活に必要な金銭を家族が高齢者に渡さない	46.3	30.3	38.4
6	上記に高齢者虐待に当てはまると思う項目はない	7.1	12.3	10.6
7	わからない	13.1	18.7	13.7
	不明・無回答	8.0	12.3	10.6
	回答者数(n)	1,388	155	555

○高齢者虐待を見聞きしたときの相談相手は、要介護状態にかかわらず「家族・親族・知人」が最も多くなっています。「ケアマネジャー」は未認定者で4.0%と、要支援者・要介護者より20ポイント以上低くなっています。

高齢者虐待を見聞きしたときの相談相手

単位：％

No.	選択肢	未認定者		要支援者		要介護者	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	家族・親族・知人	34.4	40.3	34.2	33.5	29.6	37.7
2	地域包括支援センター	15.6	18.0	14.6	19.4	20.7	18.6
3	市役所	26.5	29.8	14.7	21.3	25.2	20.7
4	ケアマネジャー	3.9	4.0	27.9	25.8	35.5	36.9
5	民生委員・児童委員	11.0	9.7	9.2	9.7	9.2	6.5
6	自治会・町内会	3.9	5.3	2.6	5.8	2.9	4.1
7	医療関係者（医師、看護師など）	4.2	4.5	5.3	3.9	5.9	5.9
8	いきいきネット相談支援センター	4.0	4.3	1.5	0.0	4.4	3.1
9	和泉市社会福祉協議会	11.9	10.8	10.1	7.1	9.1	5.6
10	警察	28.2	28.5	19.4	22.6	20.8	20.0
11	その他	0.5	0.4	0.5	0.0	0.3	0.9
12	どこに相談したらよいのか知らない	16.6	17.8	12.6	14.2	8.9	13.7
13	相談しない	1.0	1.7	1.9	3.2	1.8	2.9
	不明・無回答	8.7	4.6	15.3	7.7	7.6	7.6
	回答者数(n)	767	1,388	739	155	595	555

（２）認知症施策の推進

第９期計画における評価指標

○認知症に関する相談窓口を知っているが尋ねたところ、介護状態にかかわらず「いいえ（知らない）」が最も多く、要介護者は 10.1 ポイント増加しています。

認知症に関する相談窓口の認知状況

単位：％

No.	選択肢	未認定者		要支援者		要介護者	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	はい	11.7	13.5	18.5	13.5	43.7	33.3
2	いいえ	76.3	76.4	75.0	71.0	52.6	62.7
	不明・無回答	12.0	10.1	6.5	15.5	3.7	4.0
	回答者数(n)	767	1,388	739	155	595	555

○あなたや家族が認知症になったときの不安は、介護状態にかかわらず「家族や周りの人に負担や迷惑をかけてしまうのではないか」が最も多くなっています。「物事の判断や理解がおぼつかなくなる」は未認定者・要支援者・要介護者ともに10ポイント以上前回調査から低くなっています。

あなたや家族が認知症になったときの不安

単位：％

No	選択肢	未認定者		要支援者		要介護者	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	家族や周りの人に負担や迷惑をかけてしまうのではないか	77.1	78.0	77.0	61.9	70.2	70.1
2	物事の判断や理解がおぼつかなくなる	56.5	44.7	59.4	39.4	53.9	42.4
3	治療や介護を受けることで経済的な負担が増すこと	37.4	37.7	33.1	31.6	30.5	30.6
4	どの程度の介護サービスが受けられるかわからないこと	28.7	34.0	30.6	29.0	20.2	17.3
5	家族の介護をつづけられるかわからないこと	30.2	31.1	25.7	22.6	33.3	26.2
6	だまされたり犯罪に巻き込まれたりするのではないか	16.2	20.0	22.1	21.3	20.6	17.3
7	介護をしてくれる人がいないこと	14.3	13.5	18.3	24.5	12.1	11.4
8	認知症についてよく知らないこと	10.4	11.2	10.8	17.4	8.9	8.9
9	誰(どこ)に相談すればいいのかわからないこと	17.9	20.5	12.9	18.7	9.9	10.0
10	社会参加が難しくなること	9.9	13.1	6.5	12.3	6.4	7.0
11	自分が自分でなくなることについての不安	34.8	36.3	40.3	27.1	27.3	25.5
12	周りの人から差別や偏見を受けるかもしれないこと	－	5.4	－	8.4	－	6.6
13	自分らしい生活が続けられるか	－	47.3	－	31.6	－	32.5
14	その他	1.2	0.8	2.2	0.6	0.7	1.1
15	特に不安なことはない	3.3	1.9	2.0	4.5	3.2	3.7
	不明・無回答	8.2	6.0	8.6	12.9	12.1	12.2
	回答者数(n)	767	1388	556	155	282	271

○認知症サポーターの認知度は、介護状態にかかわらず「知らない」が最も多くなっています。

認知症サポーターの認知度

単位：％

No.	選択肢	未認定者		要支援者		要介護者	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	知っている	5.0	8.1	4.2	5.2	13.3	8.6
2	聞いたことはあるが、内容までは知らない	15.6	17.9	12.3	13.5	18.2	22.5
3	知らない	69.6	69.7	55.8	72.3	41.8	60.2
4	認知症サポーターとして活動している	0.0	0.3	0.0	0.0	0.2	0.0
	不明・無回答	9.8	4.0	27.7	9.0	26.6	8.6
	回答者数(n)	767	1,388	739	155	595	555

○「新しい認知症観」の認知度は、介護状態にかかわらず「知らない」が最も多くなっています。

「新しい認知症観」の認知度

単位：％

No.	選択肢	未認定者	要支援者	要介護者	認知症自立度		
					自立＋Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ以上
1	内容を知っている	4.5	1.9	4.9	5.7	5.8	2.9
2	言葉は知っているが内容は知らない	11.0	9.7	8.1	5.7	8.0	10.4
3	言葉、内容を知らない	79.0	77.4	78.7	79.0	80.0	76.9
	不明・無回答	5.5	11.0	8.3	9.6	6.2	9.8
	回答者数(n)	1,388	155	555	157	225	173

○友人・仲間等に自分の思いを伝えることができていると思うかを尋ねたところ、介護状態にかかわらず「思う」が最も多くなっていますが、要介護者で 56.0%と、未認定者・要支援者より低くなっています。

○要介護者を認知症自立度別にみると、認知症の程度が重くなるにつれて「思う」の回答が低くなっています。

友人・仲間等に自分の思いを伝えることができていると思うか

単位：%

No.	選択肢	未認定者	要支援者	要介護者	認知症自立度		
					自立+Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ以上
1	思う	74.4	62.6	56.0	62.4	58.2	47.4
2	思わない	7.8	9.0	11.2	10.8	12.9	9.2
3	わからない	14.7	22.6	25.2	19.1	22.7	34.1
	不明・無回答	3.2	5.8	7.6	7.6	6.2	9.2
	回答者数(n)	1,388	155	555	157	225	173

○自分らしく暮らせていると思うかを尋ねたところ、介護状態にかかわらず「思う」が最も多くなっていますが、要介護者で 45.2%と、未認定者・要支援者より低くなっています。

○要介護者を認知症自立度別にみると、認知症の程度が重くなるにつれて「思う」の回答が低くなっています。

自分らしく暮らせていると思うか

単位：%

No.	選択肢	未認定者	要支援者	要介護者	認知症自立度		
					自立+Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ以上
1	思う	77.2	53.5	45.2	52.9	47.6	35.3
2	思わない	6.6	12.9	18.7	18.5	21.8	15.0
3	わからない	13.2	26.5	29.2	22.9	25.3	39.9
	不明・無回答	3.1	7.1	6.8	5.7	5.3	9.8
	回答者数(n)	1,388	155	555	157	225	173

○自分らしく暮らせていると思うかを尋ねたところ、介護状態にかかわらず「思う」が最も多くなっていますが、要介護者で47.9%と、未認定者・要支援者より低くなっています。

○要介護者を認知症自立度別にみると、認知症の程度が重くなるにつれて「思う」の回答が低くなっています。

自分の望む生活が継続できていると思うか

単位：％

No.	選択肢	未認定者	要支援者	要介護者	認知症自立度		
					自立＋Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ以上
1	思う	66.4	53.5	47.9	58.6	47.6	38.7
2	思わない	7.6	15.5	13.7	12.1	16.9	11.0
3	わからない	21.6	24.5	31.4	24.2	29.8	39.9
	不明・無回答	4.3	6.5	7.0	5.1	5.8	10.4
	回答者数(n)	1,388	155	555	157	225	173

○あなたや家族が認知症になった時に必要な支援は、介護状態にかかわらず「相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み」が最も多く、次いで「認知症の専門医の紹介、サポート」、「所在不明となった場合に早期発見できるためのネットワーク」となっています。

あなたや家族が認知症になった時に必要な支援

単位：％

No.	選択肢	未認定者		要支援者		要介護者	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み	71.7	71.5	45.2	54.8	43.0	44.5
2	介護の方法、コミュニケーション方法などの研修会	19.9	21.3	12.0	14.8	16.0	13.3
3	家族交流など介護する家族の精神的負担を軽減できる場	16.9	18.6	11.2	15.5	15.0	14.1
4	電球交換や草むしりなど、在宅生活を支えるサービス	13.4	14.5	12.7	18.7	11.1	12.8
5	認知症の人が社会参加や交流できる場	14.5	15.3	9.5	8.4	11.1	13.5
6	認知症の人が役割を持てる場	－	7.5	－	4.5	－	7.0
7	認知症の人が集い、暮らしやすい地域の在り方を話し合う場	－	9.9	－	9.0	－	9.2
8	所在不明となった場合に早期発見できるためのネットワーク	27.2	28.6	18.9	22.6	21.2	27.0
9	孤立防止や安否確認のための定期的な訪問活動	18.8	21.2	12.6	18.7	16.5	17.7
10	認知症の専門医の紹介、サポート	36.4	36.7	25.7	25.2	27.6	27.4
11	虐待、成年後見制度の相談窓口	4.2	3.7	3.1	1.9	3.9	4.7
12	グループホームなどの住まいの整備	11.7	16.6	11.8	12.3	16.3	18.6
13	その他	1.0	0.4	2.2	0.6	2.0	2.0
14	特にない	4.2	1.7	3.8	1.9	4.2	2.7
15	わからない	－	10.5	－	12.3	－	11.0
	不明・無回答	9.3	5.8	37.6	14.2	32.1	15.9
	回答者数(n)	767	1,388	739	155	595	555

（３）成年後見制度・消費者被害防止の推進

○成年後見制度を知っていると答えた人は、未認定者で 33.4%、要支援者で 22.6%、要介護者で 30.1%と、未認定者のみ前回調査からわずかに増加しています。要介護者は「知らない」が 8.0 ポイント増加しています。

成年後見制度の認知度

単位：％

No.	選択肢	未認定者		要支援者		要介護者	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	知っている	29.6	33.4	23.3	22.6	36.3	30.1
2	名前は聞いたことがある	35.2	34.1	24.2	34.8	29.6	28.5
3	知らない	27.5	29.0	39.2	35.5	28.2	36.2
	不明・無回答	7.7	3.5	13.3	7.1	5.9	5.2
	回答者数(n)	767	1,388	739	155	595	555

○任意後見制度を知っていると答えた人は、未認定者は 31.7%、要支援者は 23.9%、要介護者は 22.7%となっており、前回調査から大きな変化はみられません。

任意後見制度の認知度

単位：％

No.	選択肢	未認定者		要支援者		要介護者	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	知っている	28.0	31.7	21.0	23.9	27.9	22.7
2	名前は聞いたことがある	36.6	34.3	28.3	34.2	32.8	33.9
3	知らない	28.2	31.1	37.8	36.1	33.3	39.3
	不明・無回答	7.2	3.0	13.0	5.8	6.1	4.1
	回答者数(n)	767	1,388	739	155	595	555

○おおむね 2 年以内に商品購入やサービス利用にあたってのトラブルは、介護状態にかかわらず「ない」が最も多くなっていますが、要支援者は前回調査から 5.2 ポイント増えています。

商品購入やサービス利用によるトラブルの有無

単位：％

No.	選択肢	未認定者		要支援者		要介護者	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	ある	1.6	3.8	3.2	8.4	4.9	5.2
2	ない	90.5	92.2	75.5	82.6	84.2	90.5
	不明・無回答	8.0	4.0	21.2	9.0	10.9	4.3
	回答者数(n)	767	1,388	739	155	595	555

○自自分で請求書の支払いができるかを尋ねたところ、「できるし、している」が最も多くなっていますが、年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて回答が少なくなっています。

自分で請求書の支払いができるか

単位：％

No.	選択肢	未認定者	未認定者(今回)			
		前回	全体	65～74 歳	75～84 歳	85 歳以上
1	できるし、している	81.9	81.7	84.3	80.1	74.1
2	できるけどしていない	11.3	13.0	11.2	14.5	16.1
3	できない	4.4	4.0	3.1	4.3	8.0
	不明・無回答	2.3	1.4	1.5	1.2	1.8
	回答者数(n)	767	1,388	688	588	112

○自分で預貯金の出し入れができるかを尋ねたところ、「できるし、している」が最も多くなっていますが、年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて回答が少なくなっています。

自分で預貯金の出し入れができるか

単位：％

No.	選択肢	未認定者	未認定者(今回)			
		前回	全体	65～74 歳	75～84 歳	85 歳以上
1	できるし、している	85.0	82.3	85.9	80.8	68.8
2	できるけどしていない	8.3	12.6	10.9	13.3	19.6
3	できない	4.6	3.6	1.9	4.4	9.8
	不明・無回答	2.1	1.4	1.3	1.5	1.8
	回答者数(n)	767	1,388	688	588	112

基本目標3 地域におけるネットワークの構築

(1) 地域包括支援センター機能の充実、体制の強化

○地域包括支援センターの認知度は、未認定者・要介護者は「まったく知らない」、要支援者は「現在、利用している」が最も多くなっています。「現在、利用している」「過去に利用したことがある」「知っているが、利用していない」を合わせた“知っている”は未認定者で45.2%、要支援者で64.5%、要介護者で61.1%と、要介護者のみ前回調査から低くなっています。

地域包括支援センターの認知度

単位：％

No.	選択肢	未認定者		要支援者		要介護者	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	現在、利用している	2.2	2.0	33.2	38.7	25.2	22.7
2	過去に利用したことがある	4.8	5.9	7.8	7.7	18.7	17.5
3	知っているが、利用していない	32.2	37.3	15.0	18.1	23.4	20.9
	知っている(1～3の計)	39.2	45.2	56.0	64.5	67.3	61.1
4	利用したいが、どのように利用したらいいかわからない	5.9	5.8	5.8	4.5	3.5	3.8
5	まったく知らない	45.6	42.9	17.9	21.9	19.5	25.9
	不明・無回答	9.3	6.1	20.3	9.0	9.7	9.2
	回答者数(n)	767	1,388	739	155	595	555

○地域包括支援センターを利用した際、満足した人は、未認定者で87.2%、要支援者で88.9%、要介護者で96.0%となっています。

地域包括支援センターの満足度（※利用した人のみ）

単位：％

No.	選択肢	未認定者		要支援者		要介護者	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	満足	42.6	54.5	39.9	47.2	51.3	53.4
2	やや満足	44.4	32.7	50.2	41.7	42.1	42.6
3	やや不満	11.1	10.0	6.6	6.9	5.0	2.7
4	不満	1.9	1.8	1.0	2.8	0.4	0.4
	満足(1と2の計)	87.0	87.2	90.1	88.9	93.4	96.0
	不満(3と4の計)	13.0	11.8	7.6	9.7	5.4	3.1
	不明・無回答	0.0	0.9	2.3	1.4	1.1	0.9
	回答者数(n)	54	110	303	72	261	223

○ケアマネジャーに地域包括支援センターとの連携状況を尋ねたところ、「できている」が44.3%で最も多く、「ややできている」と合わせると79.5%のケアマネジャーができていると答えています。

地域包括支援センターとの連携状況（ケアマネジャー調査）

単位：%

No.	選択肢	前回調査		今回調査	
		n	%	n	%
1	できている	44	37.3	39	44.3
2	ややできている	45	38.1	31	35.2
3	どちらともいえない	22	18.6	15	17.0
4	あまりできていない	2	1.7	2	2.3
5	できていない	1	0.8	1	1.1
6	関わりがない	1	0.8	0	0.0
	できている(1と2の計)	89	75.4	70	79.5
	不明・無回答	3	2.5	0	0.0
	全体	118	100.0	88	100.0

○ケアマネジャーに地域包括支援センターに期待する役割を尋ねたところ、「支援困難事例の相談・助言」が73.9%で最も多く、前回調査でも最も多くなっています。次いで「インフォーマルサービスに関する情報提供」が52.3%、「地域の総合相談としての役割」となっています。

地域包括支援センターに期待する役割（ケアマネジャー調査）

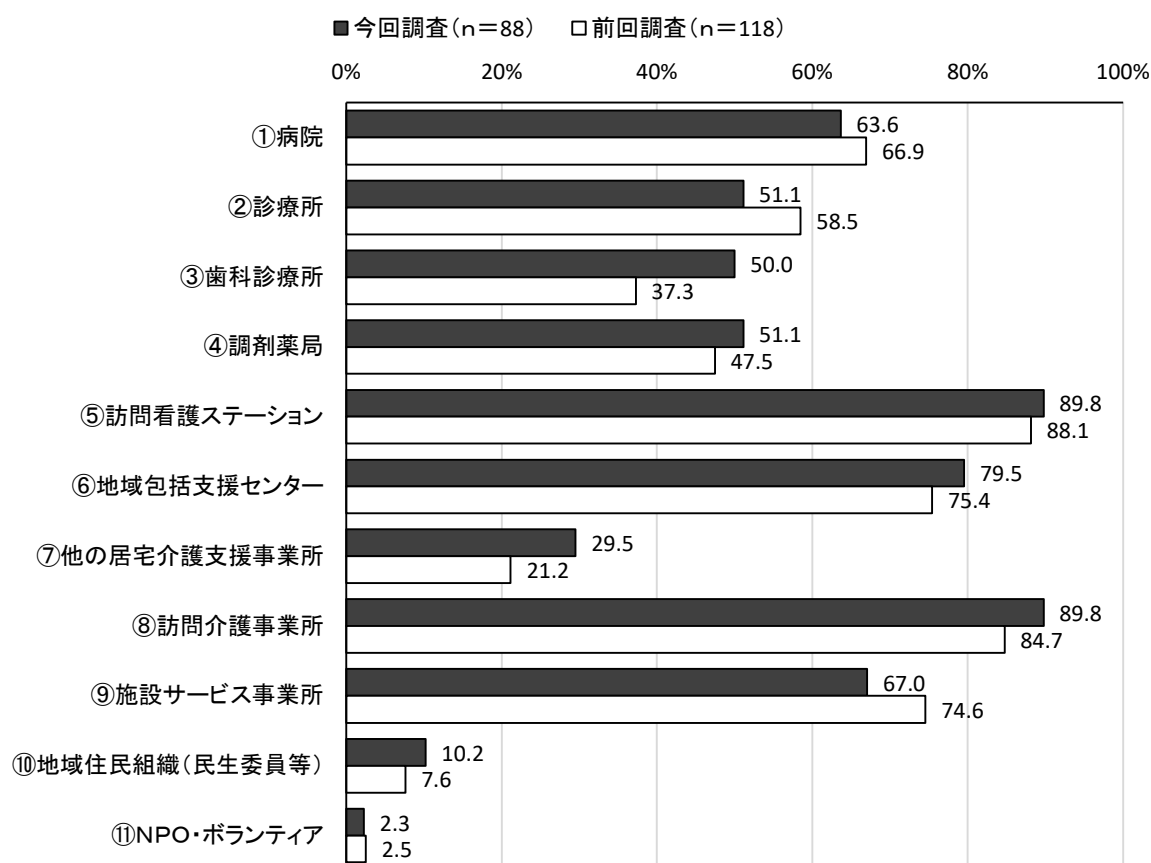
単位：％

No.	選択肢	前回調査		今回調査	
		n	%	n	%
1	介護予防ケアマネジメントに関する指導・相談	40	33.9	31	35.2
2	ケアマネジャーに対する日常的な個別指導・相談	40	33.9	25	28.4
3	支援困難事例の相談・助言	83	70.3	65	73.9
4	地域におけるケアマネジャーのネットワークづくり	48	40.7	31	35.2
5	高齢者の健康づくりや介護予防の推進	31	26.3	27	30.7
6	主治医との連携の役割	28	23.7	18	20.5
7	地域の総合相談としての役割	63	53.4	44	50.0
8	実態把握等による要援護高齢者の早期発見と対応	29	24.6	28	31.8
9	高齢者虐待防止・権利擁護	42	35.6	33	37.5
10	地域ケア会議の開催	13	11.0	10	11.4
11	インフォーマルサービスに関する情報提供	—	—	46	52.3
12	その他	5	4.2	5	5.7
13	特になし	4	3.4	5	5.7
	不明・無回答	0	0.0	0	0.0
	全体	118	100.0	88	100.0

（２）総合的な地域ケア体制の充実

○ケアマネジャーが連携できている関係機関は、「⑤訪問看護ステーション」「⑧訪問介護事業所」がともに 89.8%で最も多く、次いで「⑥地域包括支援センター」が 79.5%となっています。前回調査と比べて「③歯科診療所」「④調剤薬局」「⑤訪問看護ステーション」「⑥地域包括支援センター」「⑦他の居宅介護支援事業所」「⑧訪問介護事業所」「⑩地域住民組織（民生委員等）」が増加しています。

ケアマネジャーが連携できている関係機関



(3) 医療と介護の連携強化

○医療や介護について相談できる機関を尋ねたところ、未認定者は「病院・診療所」、要支援者・要介護者は「介護関係の事業所（ケアマネ施設相談員等）」が最も多くなっています。「ない」は未認定者で 27.6%、要支援者で 7.7%、要介護者で 3.2%となっており、前回調査との大きな差はみられません。

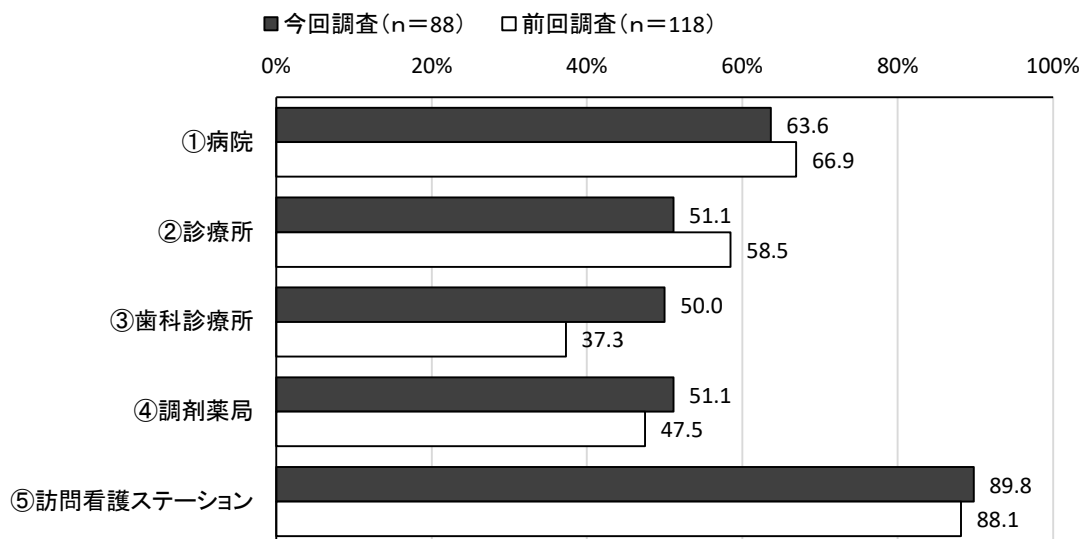
医療や介護について相談できる機関

(複数回答) 単位: %

No.	選択肢	未認定者		要支援者		要介護者	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	病院・診療所	48.8	55.0	50.3	50.3	42.5	42.5
2	歯科医院	6.6	9.7	7.4	9.7	4.7	4.1
3	薬局	2.9	4.0	4.9	5.2	3.9	2.2
4	介護関係の事業所(ケアマネ施設相談員等)	12.6	13.0	67.0	62.6	78.8	74.1
5	地域包括支援センター	11.6	12.3	18.3	17.4	16.5	17.1
6	市役所	12.9	16.4	7.2	11.6	13.3	14.4
7	訪問看護ステーション	1.8	1.9	7.3	9.0	13.9	15.9
8	ない	29.9	27.6	4.9	7.7	4.4	3.2
	不明・無回答	5.1	3.8	3.8	1.9	5.7	9.9
	回答者数(n)	767	1,388	739	155	595	555

○ケアマネジャーが連携できている医療機関は、「訪問看護ステーション」が 89.8%、次いで「①病院」が 63.6%となっています。前回調査と比較すると、「②診療所」は前回調査より 7.4 ポイント減少しており、「③歯科診療所」は 12.7 ポイント増加しています。

ケアマネジャーが連携できている医療機関



- 「在宅医療介護相談支援センター」の認知状況は、「相談窓口は知っているが、支援内容は知らない」が29.5%で最も多く、次いで「実施している内容（支援）、相談窓口ともに知っている」となっています。

「在宅医療介護相談支援センター」の認知状況（ケアマネジャー調査）

No.	選択肢	n	%
1	実施している内容(支援)、相談窓口ともに知っている	22	25.0
2	相談窓口は知っているが、支援内容は知らない	26	29.5
3	窓口があることは知っているが、どこが相談窓口か知らない	20	22.7
4	まったく知らない	20	22.7
	不明・無回答	0	0.0
	全体	88	100.0

- 人生会議の実施状況は、介護状態にかかわらず「話し合ったことはないが、これから話し合いたい」が最も多く、介護状態が重くなるにつれて回答が少なくなっています。2番目は「ある程度実施しているが、見直しはしていない」で、介護状態が重くなるにつれて回答が多くなっています。

人生会議の実施状況

単位：%

No.	選択肢	未認定者	要支援者	要介護者
1	詳しく実施しているし、見直している	4.0	2.6	8.1
2	ある程度実施しているが、見直しはしていない	14.5	20.6	23.2
3	話し合ったことはないが、これから話し合いたい	65.1	46.5	43.1
4	話し合ったことはなく、これからも話し合うつもりはない	8.6	14.2	15.3
	不明・無回答	7.8	16.1	10.3
	回答者数(n)	1,388	155	555

- 人生会議を書き留めるツールの使用状況は、和泉市が発行しているツール・和泉市以外のツールともに「知らない」が最も多く、「使用している」は数パーセントにとどまっています。

人生会議を書き留めるツールの使用状況

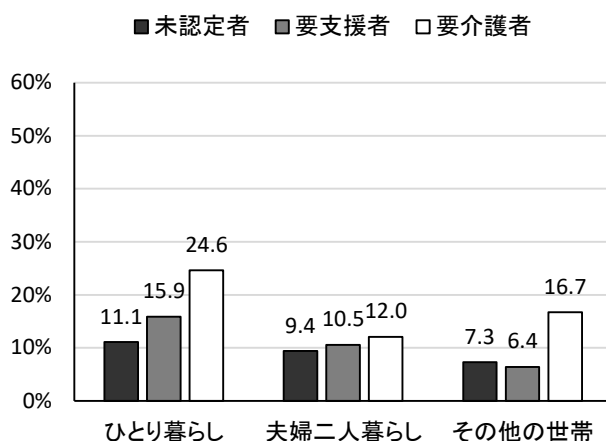
単位：%

No.	選択肢	和泉市が発行しているツール			和泉市以外のツール		
		未認定者	要支援者	要介護者	未認定者	要支援者	要介護者
1	使用している	0.3	0.0	1.3	1.4	0.6	0.9
2	持っているが使用していない	2.4	3.2	2.5	2.4	2.6	2.0
3	知らない	88.5	80.0	82.9	81.4	71.6	77.3
	不明・無回答	8.9	16.8	13.3	14.8	25.2	19.8
	回答者数(n)	1,388	155	555	1,388	155	555

（４）高齢者を支える体制の整備、セーフティネットの推進

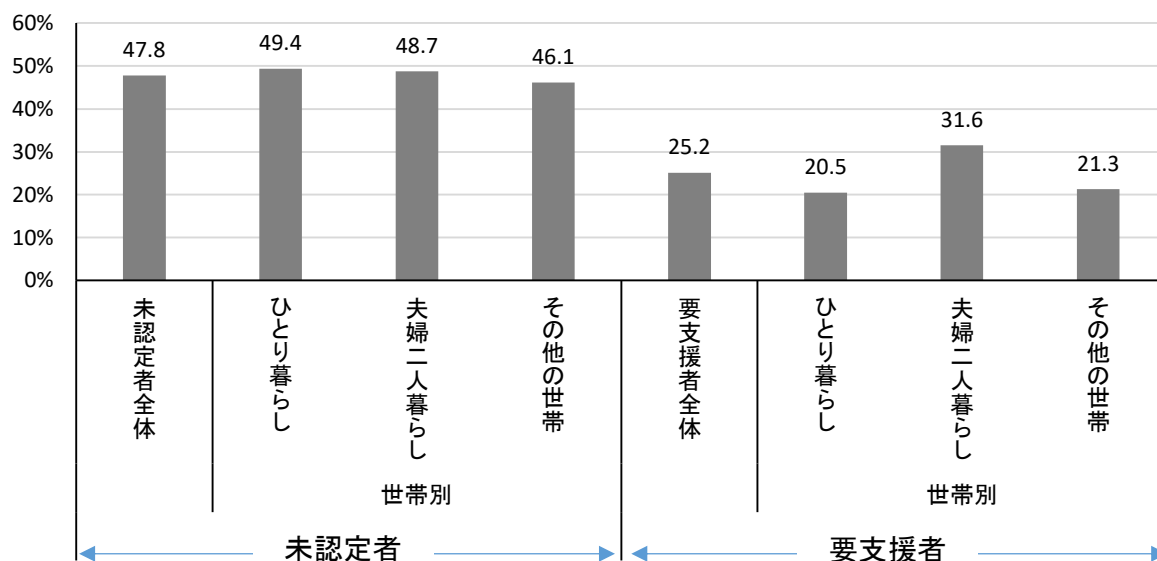
○今後必要な生活支援サービスで「見守り、声かけ、話し相手」と答えた人は、世帯構成でみた場合、ひとり暮らしの要介護者で多くなっています。

今後必要な生活支援サービスで「見守り、声かけ、話し相手」と答えた人
世帯別



○有事の際、家族や友人・知人以外で相談する相手が「いない」と答えた人は未認定者で 47.8%、要支援者で 25.2%と、未認定者の約半数が相談相手がいないと答えています。うち、ひとり暮らしの人は 49.4%となっています。

有事の際、家族や友人・知人以外で相談する相手が「いない」と答えた人



基本目標4 生きがい・安心のある暮らしの実現

(1) 高齢者の積極的な社会参加の推進

○生きがいの有無は、未認定者は「生きがいあり」が56.9%、要支援者は「思いつかない」が50.3%で最も多くなっています。「生きがいあり」は、要支援者で40.6%と、前回調査より15.3ポイント増加しています。

生きがいの有無

単位：%

No.	選択肢	未認定者		要支援者	
		前回	今回	前回	今回
1	生きがいあり	53.3	56.9	25.3	40.6
2	思いつかない	40.7	37.5	43.3	50.3
	不明・無回答	6.0	5.6	31.4	9.0
	回答者数(n)	767	1388	739	155

○参加者としての参加意向は、未認定者は「参加してもよい」が39.8%、要支援者は「参加したくない」が32.3%で最も多くなっています。

参加者としての参加意向

単位：%

No.	選択肢	未認定者		要支援者	
		前回	今回	前回	今回
1	是非参加したい	6.0	4.8	6.2	3.2
2	参加してもよい	44.6	39.8	32.9	25.8
3	参加したくない	36.4	31.8	43.7	32.3
4	すでに参加している	5.0	3.9	5.3	4.5
	不明・無回答	8.1	19.7	11.9	34.2
	回答者数(n)	767	1,388	739	155

○企画運営（お世話役）としての参加意向は、未認定者・要支援者ともに「参加したくない」が最も多く、未認定者で52.1%、要支援者51.0%となっています。「すでに参加している」は、未認定者・要支援者ともに2.6%と、前回調査との大きな差はみられません。

企画運営（お世話役）としての参加意向

単位：%

No.	選択肢	未認定者		要支援者	
		前回	今回	前回	今回
1	是非参加したい	2.6	1.7	1.4	0.6
2	参加してもよい	25.0	24.2	18.7	14.8
3	参加したくない	59.6	52.1	63.9	51.0
4	すでに参加している	3.5	2.6	1.8	2.6
	不明・無回答	9.3	19.4	14.3	31.0
	回答者数(n)	767	1,388	739	155

(2) 地域での生活の自立支援

○外出頻度は、未認定者は「週5回以上」が41.9%、要支援者は「週2～4回」が40.0%で最も多くなっています。「ほとんど外出しない」は、未認定者で4.6%、要支援者で18.7%と、前回調査との大きな差はみられません。

外出頻度

単位：%

No.	選択肢	未認定者		要支援者	
		前回	今回	前回	今回
1	ほとんど外出しない	4.6	4.6	19.2	18.7
2	週1回	12.5	11.5	30.0	29.0
3	週2～4回	39.8	40.8	42.5	40.0
4	週5回以上	41.6	41.9	6.2	9.7
	不明・無回答	1.6	1.3	2.0	2.6
	回答者数(n)	767	1,388	739	155

○「おたがいさまサポーター」の認知度は、未認定者・要支援者ともに「知らない」がそれぞれ85.9%、84.5%で最も多くなっています。「知らない」は、未認定者では前回調査との大きな差はみられませんが、要支援者では前回調査より11.4ポイント増加しています。

「おたがいさまサポーター」の認知度

単位：%

No.	選択肢	未認定者		要支援者	
		前回	今回	前回	今回
1	知っている	8.1	10.0	16.1	7.7
2	知らない	85.8	85.9	73.1	84.5
	不明・無回答	6.1	4.1	10.8	7.7
	回答者数(n)	767	1,388	739	155

※「知っている」について、前回調査は「知っているし、利用している」「知っているが、利用していない」の合計

○今後利用したい生活支援サービスは、未認定者で「特にない」、要支援者・要介護者で「移送サービス（介護福祉タクシー等）」が最も多くなっています。「移送サービス（介護福祉タクシー等）」は未認定者においても希望が高くなっています。

（複数回答） 単位：％

No.	選択肢	未認定者		要支援者		要介護者	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	配食	13.7	12.0	18.3	19.4	19.7	19.1
2	調理	6.4	6.6	8.8	7.7	12.1	12.6
3	掃除・洗濯	9.9	8.9	18.8	11.6	17.0	17.3
4	大掃除	6.0	5.9	9.5	8.4	8.1	8.6
5	買い物（宅配は含まない）	8.1	8.1	14.9	14.2	12.4	12.4
6	ゴミ出し	5.2	4.4	11.2	9.7	9.7	12.1
7	大型のゴミ出し	9.9	10.3	14.3	17.4	11.8	10.5
8	外出同行（通院、買い物など）	7.4	8.9	18.4	14.2	24.0	21.8
9	移送サービス（介護福祉タクシー等）	14.0	13.7	25.7	21.9	31.3	27.6
10	見守り、声かけ、話し相手	9.6	9.0	13.4	10.3	21.7	16.8
11	定期的な通いの場	7.6	8.4	11.8	12.3	22.0	12.3
12	服薬	2.5	2.1	3.4	3.2	8.9	10.1
13	草むしり	6.9	7.5	9.3	12.3	8.6	8.6
14	植木の剪定	8.7	9.8	10.8	15.5	10.6	7.4
15	家探し（老人ホーム等）	3.5	4.8	6.8	6.5	8.1	5.8
16	その他	1.2	1.6	2.3	2.6	3.5	7.0
17	特にない	43.0	46.0	20.4	19.4	22.4	26.1
	不明・無回答	17.7	13.6	16.0	16.1	10.3	11.2
	回答者数（n）	767	1,388	739	155	595	555

(3) 介護家族への支援

○ケアプランへ意向の反映状況は、要介護者は「大体反映されている」が54.8%で最も多くなっています。「十分反映されている」は27.9%で、前回調査より9.2ポイント減少しています。

ケアプランへ意向の反映状況

単位：%

No.	選択肢	要介護者	
		前回	今回
1	十分反映されている	37.1	27.9
2	大体反映されている	47.4	54.8
3	あまり反映されていない	3.9	5.8
4	反映されていない	0.5	0.7
	不明・無回答	11.1	10.8
	回答者数(n)	595	555

○介護を理由とした離職の状況は、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」は65.6%で最も多く、前回調査から5.6ポイント増加しています。次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が6.9%と、前回調査から8.3ポイント減少しています。

介護を理由とした離職の状況

単位：%

No.	選択肢	要介護者	
		前回	今回
1	主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)	15.2	6.9
2	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)	1.8	1.5
3	主な介護者が転職した	2.9	3.2
4	主な介護者以外の家族・親族が転職した	0.9	1.0
5	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	60.0	65.6
6	わからない	6.2	4.9
	不明・無回答	13.6	17.4
	回答者数(n)	455	407

○今後も働きながら介護を続けられるかについて、要介護者の介護者は「問題はあるが、何とか続けていける」が60.1%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」は16.7%となっており、前回調査との大きな差はみられません。

今後も働きながら介護を続けられるか

単位：％

No.	選択肢	要介護者	
		前回	今回
1	問題なく、続けていける	12.9	16.7
2	問題はあるが、何とか続けていける	59.6	60.1
3	続けていくのは、やや難しい	12.9	10.1
4	続けていくのは、かなり難しい	8.4	4.2
5	主な介護者に確認しないと、わからない	1.7	2.4
	不明・無回答	4.5	6.5
	回答者数(n)	178	168

○主な介護者の方が不安に感じる介護等は、要介護者は「認知症状への対応」が31.7%で最も多くなっており、前回調査より12ポイント減少しています。次いで「夜間の排泄」、「入浴・洗身」と続き、上位3項目は前回調査と同じ内容となっています。

○また、「日中の排泄」「食事の介助（食べる時）」「入浴・洗身」「外出の付き添い、送迎等」「食事の準備（調理等）」は、前回調査より5ポイント以上増加しています。「不安に感じていることは、特にない」は4.4%で、前回調査との大きな差はみられません。

主な介護者の方が不安に感じる介護等

（複数回答）単位：%

No.	選択肢	要介護者	
		前回	今回
1	日中の排泄	21.3	16.2
2	夜間の排泄	33.0	29.5
3	食事の介助（食べる時）	9.9	3.7
4	入浴・洗身	36.5	29.0
5	身だしなみ（洗顔歯磨き等）	5.9	4.9
6	衣服の着脱	6.2	4.4
7	屋内の移乗・移動	12.3	9.1
8	外出の付き添い、送迎等	31.4	21.9
9	服薬	10.5	9.6
10	認知症状への対応	43.7	31.7
11	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	7.9	5.4
12	食事の準備（調理等）	24.0	17.0
13	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	15.4	13.3
14	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	10.1	10.6
15	その他	6.6	6.6
16	不安に感じていることは、特にない	2.9	4.4
17	主な介護者に確認しないと、わからない	0.4	3.2
	不明・無回答	4.4	9.3
	回答者数(n)	455	407

基本目標5 介護サービスの質の向上と介護保険事業の適正な運営

(1) サービスの質の向上と介護現場に対する支援

○ケアマネジャー業務で感じている問題・課題は、「記録など書類の量が多く負担となっている」が最も多く、次いで「要介護認定が出る前のいわゆる「暫定ケアプラン」調整の労力について、「要支援」の認定が出た際には介護報酬で評価されない」が続き、この2項目は前回調査でも高くなっています。3番目は「介護保険サービスを利用せずインフォーマルサービスや民間サービスだけのケアプラン調整に対し、介護報酬が算定できない」で前回調査から 19.7 ポイント増えています。

ケアマネジャー業務で感じている問題・課題（ケアマネジャー調査）

（複数回答） 単位：％

No	選択肢	前回調査		今回調査	
		n	%	n	%
1	サービス事業者に関する情報が少ない	16	13.6	20	22.7
2	介護保険の目的である自立支援に向けたプランを作成しても、利用者・家族に理解されない	34	28.8	33	37.5
3	忙しくて利用者の意見・要望を聞き調整する時間が充分とれない	19	16.1	14	15.9
4	支援困難事例のケアマネジメントの方法がわからない	17	14.4	12	13.6
5	認知症ケアの方法がわからない	6	5.1	2	2.3
6	医療機関との連携がうまくとれない	19	16.1	19	21.6
7	地域包括支援センターとの連携がうまくとれない	4	3.4	4	4.5
8	相談する人が身近にいない	5	4.2	8	9.1
9	所属事業所の関連事業者のサービスに偏る	8	6.8	11	12.5
10	記録など書類の量が多く負担となっている	99	83.9	64	72.7
11	介護保険サービスを利用せずインフォーマルサービスや民間サービスだけのケアプラン調整に対し、介護報酬が算定できない	29	24.6	39	44.3
12	インフォーマルサービスや民間サービスの利用を提案しても利用者や家族に受け入れられない	21	17.8	15	17.0
13	要介護認定が出る前のいわゆる「暫定ケアプラン」調整の労力について、「要支援」の認定が出た際には介護報酬で評価されない	44	37.3	40	45.5
14	上司や先輩、同僚と意見が合わない	2	1.7	4	4.5
15	その他	22	18.6	16	18.2
16	特に問題・課題は感じない	4	3.4	2	2.3
	不明・無回答	0	0.0	0	0.0
	全体	118	100.0	88	100.0

○事業所に事業を運営する上での課題を尋ねたところ、サービスの種類で異なるものの、おおむね「新規利用者の獲得が困難」「職員が不足している」「職員の人材育成」「介護報酬が低い」の回答が多くなっています。

事業を運営する上での課題（サービス提供事業所調査）

（複数回答） 単位：％

	居宅介護支援	訪問介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護	短期入所生活介護	福祉用具貸与	特定福祉用具販売	住宅改修	地域密着型通所介護
新規利用者の獲得が困難	42.4	38.6	66.7	40.0	63.6	83.3	66.7	77.8	50.0	50.0
利用者のサービス利用の継続	24.2	9.1	7.4	0.0	45.5	33.3	22.2	11.1	0.0	21.4
利用者一人あたりの利用量が少ない	12.1	18.2	7.4	0.0	22.7	33.3	22.2	11.1	12.5	28.6
利用者（希望者）の量に対し、施設基準が満たしていない	3.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
職員が不足している	39.4	75.0	59.3	80.0	63.6	0.0	0.0	0.0	12.5	21.4
利用者や家族が介護保険制度やサービスを理解していない	24.2	13.6	7.4	20.0	22.7	0.0	0.0	11.1	12.5	7.1
利用者の身体状況の把握が難しい	3.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
利用者からの苦情や事故への対応	12.1	9.1	3.7	20.0	13.6	16.7	0.0	0.0	0.0	7.1
訪問や送迎が非効率（エリアが広い等）	9.1	11.4	18.5	20.0	18.2	16.7	11.1	11.1	12.5	14.3
職員が短期間で離職してしまう	6.1	27.3	3.7	0.0	4.5	0.0	22.2	22.2	25.0	7.1
職員の人材育成	15.2	40.9	33.3	20.0	27.3	66.7	11.1	11.1	12.5	42.9
責任者など、中堅人材の確保・育成	18.2	31.8	25.9	0.0	31.8	16.7	11.1	11.1	12.5	42.9
ほかのサービス事業所との競合が激しい	9.1	15.9	25.9	0.0	22.7	33.3	33.3	44.4	25.0	35.7
ケアマネジャーなど、他事業所・他職種との連携	3.0	6.8	3.7	20.0	13.6	33.3	22.2	11.1	0.0	7.1
ほかのサービス事業所との連携	9.1	2.3	3.7	0.0	9.1	0.0	11.1	0.0	0.0	14.3
医療機関との連携	18.2	2.3	7.4	0.0	9.1	33.3	22.2	0.0	0.0	14.3
介護報酬が低い	72.7	68.2	25.9	60.0	81.8	66.7	22.2	22.2	12.5	78.6
その他	6.1	0.0	3.7	0.0	4.5	16.7	11.1	11.1	25.0	14.3
特になし	3.0	0.0	3.7	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
不明・無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
回答数	33	44	27	5	22	6	9	9	8	14

○事業所に1年間の人材確保の状況は、“確保できている（「十分確保できている」と「おおむね確保できている」）”は55.3%で、前回調査から5.3ポイント増えています。

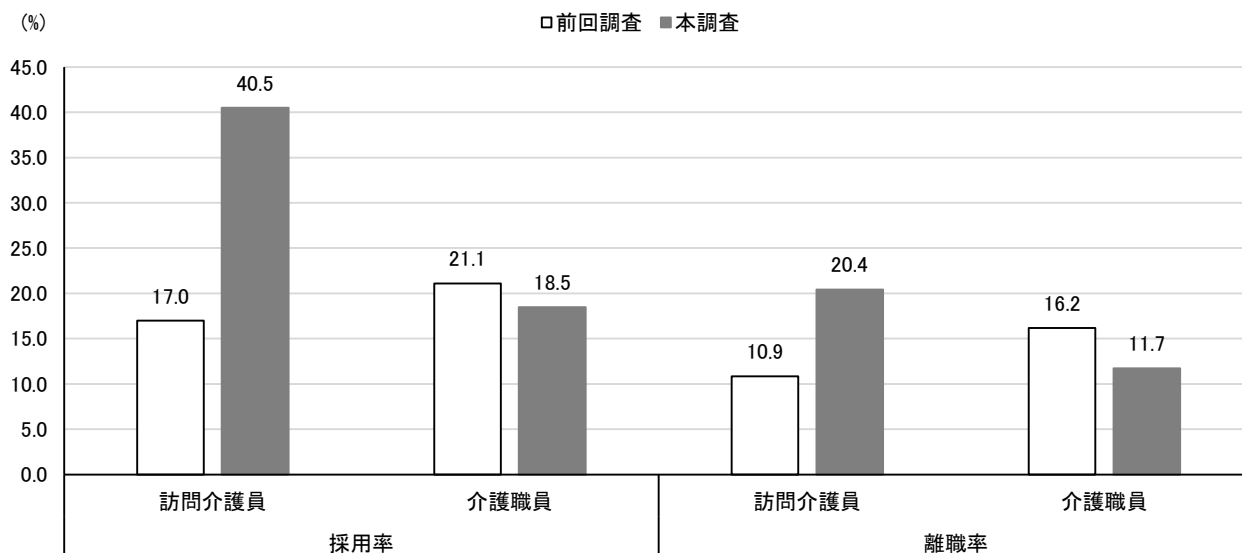
1年間の人材確保の状況（サービス提供事業所調査）

単位：%

No.	選択肢	前回調査		今回調査	
		n	%	n	%
1	十分確保できている	13	10.3	9	8.7
2	おおむね確保できている	50	39.7	48	46.6
3	あまり確保できていない	36	28.6	27	26.2
4	確保できていない	11	8.7	17	16.5
	確保できている(1と2の計)	63	50.0	57	55.3
	確保できていない(3と4の計)	47	37.3	44	42.7
	不明・無回答	16	12.7	2	1.9
	全体	126	100.0	103	100.0

○訪問介護員と介護職員の採用率をみると、訪問介護員は大きく上昇していますが、介護職員はわずかに減少しています。

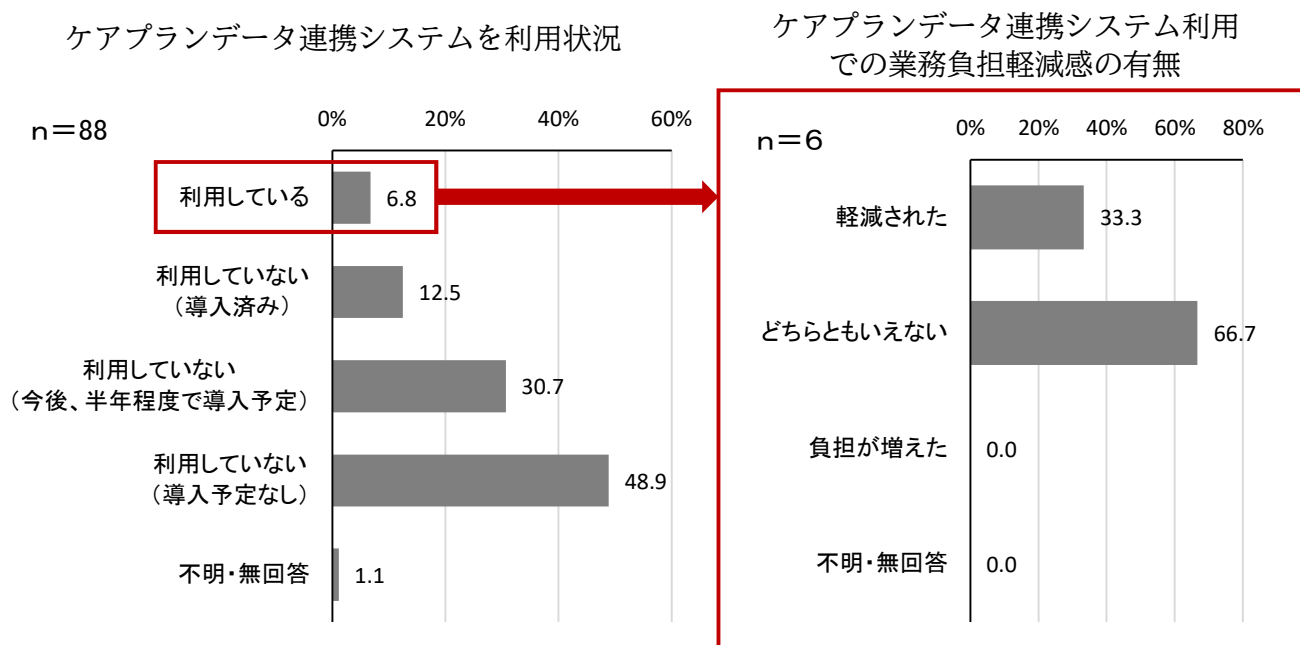
○訪問介護員と介護職員の離職率をみると、訪問介護員は大きく上昇していますが、介護職員はわずかに減少しています。



※介護職員は、介護保険の訪問介護以外の指定介護事業所で働き、直接介護を行う人を指します。

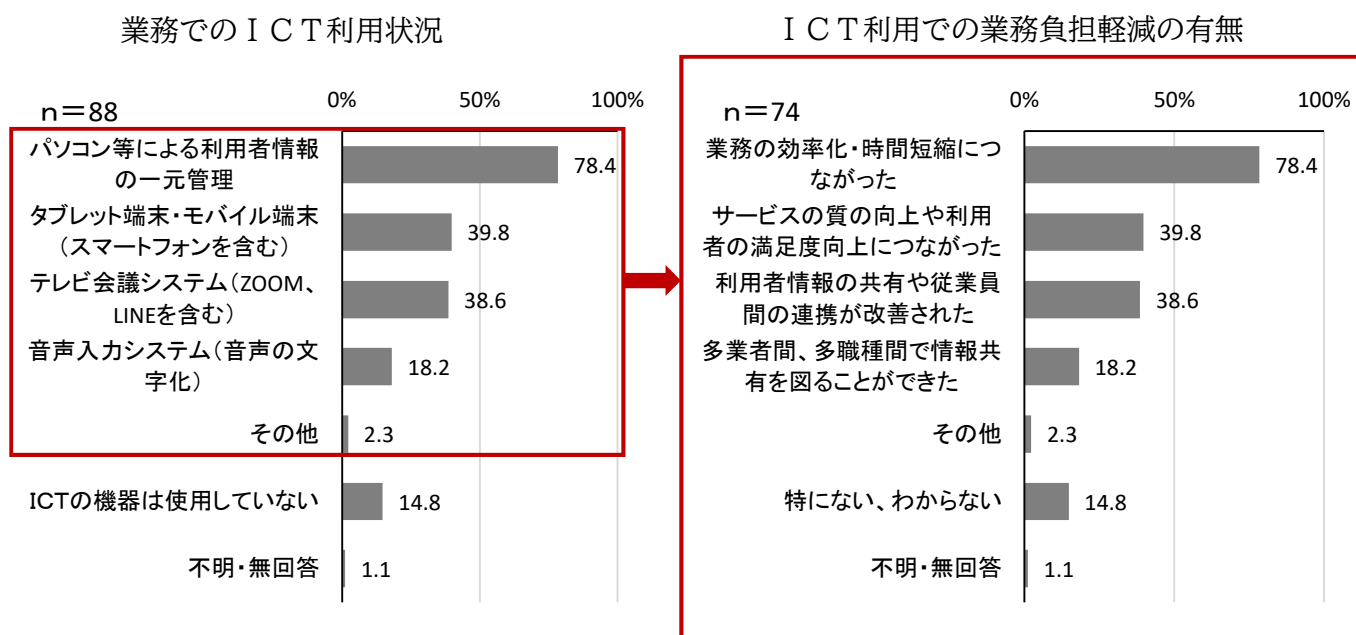
○ケアプランデータ連携システム利用状況は、「利用している」が6.8%となっています。「利用している」と回答した方のケアプランデータ連携システム利用での業務負担軽減感の有無は、「軽減された」が33.3%、「どちらともいえない」が66.7%となっており、「負担が増えた」は0.0%となっています。

ケアマネジャー調査



※ケアプランデータ連携システムとは、居宅介護支援事業所と居宅サービス事業所とのケアプランのやりとりを、オンラインで完結できる仕組みです。

○業務でのICT利用状況は、「パソコン等による利用者情報の一元管理」が78.4%で最も多くなっています。何らかのICTを利用している方のうち、「業務の効率化・時間短縮につながった」が78.4%で最も多くなっています。「特にない、わからない」は14.8%となっています。



（２）利用者本位のサービス提供の推進

○要介護認定の結果の満足度は、要介護者は「ほぼ満足」が49.2%で最も多くなっており、前回調査より7.3ポイント減少しています。「満足」は31.2%で、前回調査との大きな差はみられません。

要介護認定の結果の満足度

単位：％

No.	選択肢	要介護者	
		前回	今回
1	満足	28.1	31.2
2	ほぼ満足	56.5	49.2
3	やや不満	8.4	11.4
4	不満	2.0	3.8
	不明・無回答	5.0	4.5
	回答者数(n)	595	555

○ケアプランへの意向の反映状況は、要介護者は「大体反映されている」が54.8%で最も多くなっています。「十分反映されている」は27.9%で、前回調査より9.2ポイント減少しています。

ケアプランへ意向の反映状況【再掲】

単位：％

No.	選択肢	要介護者	
		前回	今回
1	十分反映されている	37.1	27.9
2	大体反映されている	47.4	54.8
3	あまり反映されていない	3.9	5.8
4	反映されていない	0.5	0.7
	不明・無回答	11.1	10.8
	回答者数(n)	595	555

○ケアマネジャーに和泉市内で不足しているサービスを尋ねたところ、前回同様「訪問介護」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「夜間対応型訪問介護」が上位３サービスとなっていますが、「訪問介護」は前回調査から 34.9 ポイント高くなっています。

和泉市内で不足しているサービス（ケアマネジャー調査）

（複数回答）単位：％

No.	選択肢	前回調査		今回調査	
		n	%	n	%
1	居宅介護支援	11	9.3	4	4.5
2	訪問介護	42	35.6	62	70.5
3	訪問入浴介護	13	11.0	19	21.6
4	訪問看護	5	4.2	2	2.3
5	訪問リハビリテーション	14	11.9	19	21.6
6	居宅療養管理指導	3	2.5	3	3.4
7	通所介護	2	1.7	2	2.3
8	通所リハビリテーション	9	7.6	8	9.1
9	短期入所生活介護	24	20.3	6	6.8
10	短期入所療養介護(老健)	15	12.7	5	5.7
11	短期入所療養介護(病院等)	9	7.6	5	5.7
12	福祉用具貸与	0	0.0	0	0.0
13	特定福祉用具販売	1	0.8	0	0.0
14	住宅改修	0	0.0	0	0.0
15	特定施設入居者生活介護	6	5.1	0	0.0
16	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	41	34.7	33	37.5
17	夜間対応型訪問介護	44	37.3	33	37.5
18	認知症対応型通所介護	34	28.8	15	17.0
19	小規模多機能型居宅介護	24	20.3	19	21.6
20	認知症対応型共同生活介護	18	15.3	13	14.8
21	地域密着型特定施設入居者生活介護	2	1.7	1	1.1
22	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	2	1.7	1	1.1
23	看護小規模多機能型居宅介護	20	16.9	15	17.0
24	地域密着型通所介護	2	1.7	1	1.1
25	介護老人福祉施設	4	3.4	3	3.4
26	介護老人保健施設	4	3.4	2	2.3
27	介護医療院	14	11.9	6	6.8
28	特にない	12	10.2	4	4.5
29	わからない	6	5.1	3	3.4
	不明・無回答	1	0.8	0	0.0
	全体	118	100.0	88	100.0

(3) 介護保険事業の適正な運営

○要介護認定の結果の満足度は、要介護者は「ほぼ満足」が49.2%で最も多くなっており、前回調査より7.3ポイント減少しています。「満足」は31.2%で、前回調査との大きな差はみられません。

要介護認定の結果の満足度【再掲】

単位：%

No.	選択肢	要介護者	
		前回	今回
1	満足	28.1	31.2
2	ほぼ満足	56.5	49.2
3	やや不満	8.4	11.4
4	不満	2.0	3.8
	不明・無回答	5.0	4.5
	回答者数(n)	595	555

○ケアプランへ意向の反映状況は、要介護者は「大体反映されている」が54.8%で最も多くなっています。「十分反映されている」は27.9%で、前回調査より9.2ポイント減少しています。

ケアプランへ意向の反映状況【再掲】

単位：%

No.	選択肢	要介護者	
		前回	今回
1	十分反映されている	37.1	27.9
2	大体反映されている	47.4	54.8
3	あまり反映されていない	3.9	5.8
4	反映されていない	0.5	0.7
	不明・無回答	11.1	10.8
	回答者数(n)	595	555